
しろはく活動記録

古地図と城の泉 創刊号

平成25年11月1日

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

創刊の辞

昨年、経済人を卒業して、24時間、城と古地図に没頭しています。今まで、あれだけ、情熱と時間をかけた、企業と業界業務がすべて、これらに代わるわけですから、膨大な量の研究ができるわけです。城郭研究の世界は残された遺跡という1級史料に根出した縄張り研究に於いて、城郭研究者の功績は歴史においても内容においても、歴史学会を凌駕しています。いな、彼らの成果がなければ、中世城郭を論じることすらできないでしょう。長い間、業務多忙で現地調査に時間的限界があり、今、又、体力的に多くは望めません。時間と体力を考えた結果、昨年、50年余にわたる膨大なコレクションを生かした博物館資料の公開を基本とする地域活性化をしろはくの基本構想としました。ただ、全国の博物館と違い、現役コレクターですので、整理には限界があり、日々の資料増加量も膨大であります。博物館資料の整理、公開、新収集資料の紹介、たまに、現地調査報告をタイムリーに紹介するというのが、創刊の目的であります。よろしくお願いします。

代表 富原道晴

城郭現地調査報告

陸軍省城絵図 高遠城郭之図検証作業 高遠城跡遺構調査報告書

平成24年8月28日調査29日製図30・31日考証

追加調査24年9月14日・15日、17日製図考証

(本報告は昨年長野県城絵図展開催に際し、現地調査したのですが、展示会場で公開したものの、来場者の一部に配布したのみですので、改めて公開します。)

長野県の城絵図展開催に際し、陸軍省城絵図高遠城郭之図の検証作業を行いました。昭和60年高遠城航空写真測量図を参考に、現存遺構縄張り調査を実施。高遠城は南を三峰川と北を藤沢川に挟まれた比高80mの断崖上に構築された山城で、尾根側を約300m巾20m強の横堀で断ち切り、搦め手木橋を虎口とし(堀底に隠し通路が1か所あります)約300x400mの城域を形成しています。城内は標高800m強で整地され、巾30mに近い大規模な空堀で本城、二の丸等を区画し、平城の景観を有しています。

城は武田信玄による天文16年1547年の築城と伝え、天正10年1582年織田信忠による武田家滅亡の際の武田勝頼の弟、仁科盛信の戦いは戦史に残るものです。以降、織田、徳川、豊臣

の支配に於いて、毛利秀頼、保科正直、徳川政権下で保科正光、その子で将軍秀忠の子、保科正之、正之会津転封後は鳥居氏、幕府領の時代を経て、内藤氏約180年の治世で幕末を迎えました。350年の間、城は伊那谷中心として栄えてきました。城は高遠城址公園となり、廃城後植栽された1500本の桜で日本3大桜名所とされ、時期には30万人以上の観光客が訪れ、城跡も通路、駐車場等その対応による変化を余儀なくされています。また、昭和48年国指定史跡となり、日本100名城に認定されています。

本城は約70m角、1199坪とされている。東に枳形虎口があり、東面一帯に土塁が残され、枳形虎口と想定される城門周辺20mほど土塁が低くなり、その位置と想定されます。土塁の南端部分は二層櫓跡である。南面西側にも土塁が残存し、その西に笹曲輪への通路が確認でき、陸軍省城絵図（以下絵図）に城門が描かれている。本城内には絵図に櫓が西北に2基、西南に1基、土蔵が3基あったとされるが、櫓台等の痕跡は明瞭でない。南曲輪への土橋の手前の笹曲輪への下り通路は近代のものである。本城堀は20－30mの幅があり、正保城絵図では水堀とされ、今も東側に水が残る。西北側、勘介曲輪との間が大規模に埋め立てられている。南曲輪への土橋も近代のもので、元は空堀を下ったところで木橋があり、両曲輪に門があった。南本城堀、西端崖際には城壁があり、防御柵が描かれている。なお、本城の表記については、正保城絵図は本丸としているが、陸軍省城絵図は本城としている、ここでは本城表記に統一した。

笹曲輪は2段に削平され、約20m x 30mの広さ、240坪とされる、本城西南角から通路がある。曲輪の南側の城壁に柵と西本城堀への門が描かれ、正保城絵図では勘介曲輪へ帶郭と木橋でつながっている。現在の勘介曲輪からの通路は、本城堀が埋められているが、この通路の痕跡と思われる。本城堀の南端、勘介曲輪と笹曲輪の境は崖からの侵入防止柵が描かれている。本城南土橋付近からの現在の通路は近代のものである。

南曲輪は約50m角で600坪とされる。絵図には本城側に木橋と城門、二の丸内側に土橋と枳形門、北側本城堀内の、東端堀底に通行を遮断する柵、西端には崖からの侵入防止柵が描かれている。現在、土塁等の痕跡は見当たらない。正保図では二の丸との間に堀も枳形もなく城門のみで、のちに本城側と法幢院側から空堀で分割され、土橋と枳形が構築された。南側、法幢院曲輪との間の橋は近代のものである。

法幢院曲輪 陸軍省は法幢院曲輪を城内と認識してないのか、描かれていない。法幢院曲輪は大堀切の外にあり、今も東、南は空堀で囲まれている。当初からの遺構とすると武者隠しのような目的と思われる。城内からの通路は二の丸東南の堀底土橋である。

二の丸は本城の東、北を囲む広大な地域で、東側で南北160m、東西70m、北側は壊滅しているが、約20m x 60mと推定される。大手、搦め手からの通路は三の丸から、この二の丸の北、今、土橋となっている木橋と大きな枳形虎口を経由し、本城へ通じている。土橋は近代のものである。曲輪は二の丸内、外二段に削平され、内が西で、通路、外が東で、屋敷跡となっている。東側全面と北側の枳形門東部分のみ土塁が残存する。土塁天端は巾3、5m、南では6mにもなる。東北分は昭和12年建築の際、土塁の内側を半分以上削っている。二の丸堀は東南に土橋があるが、空堀と場外の崖を防衛する壁であって、形状はともかく、橋の役割はないと考える。城外へは東南部に隠し通路があり、一旦、南空堀内へ下り、空堀に構築された土橋を渡る、この土橋と通路は現

存する。二の丸北は勘介曲輪へ通じるが、大きく改変している。現在、二段に削平され、東より、最大10m低くなる。ここまでの標高は本城等約80.5mであるが、三の丸も西側で、二段位削平され、10m低くなる。自然地形がこの部分で低くなり、大手虎口に向けて次第に低っていると考えられるが、本城堀、二の丸堀の埋め立てにより、削平された可能性も考えられる。従って、二の丸堀も北側の西半分、西側が埋められ、原型をとどめていない。今は埋め立てられた二の丸や二の丸堀、本城堀跡も勘介曲輪と表示されている。西北にあった櫓台もその位置すら確定できず、特徴的な横矢掛かりの屏風折も痕跡をとどめない。

勘介曲輪は約50 x 70m、769坪とされているが、二の丸との通路周辺、三の丸との空堀。本城堀との空堀が埋め立てられ、140m x 110mの強大な敷地となっている。そのため、本城、二の丸、勘介曲輪等大手口への防衛機能がかき消されている。正保図では二の丸との境に城門が描かれている。曲輪の南側と西側に土塁を残している、西北隅あたりの土塁は櫓跡があった場所であるが、堀埋め立て時の削平の可能性もある。二の丸堀を埋め立て、西崖に達する部分は丸石で土止めを行っている。高遠城にとって、この本城堀と二の丸堀の埋め立ては城跡の景観を大きく損ねている。

三の丸は東西に大手、搦め手を有し、その間、186間、道幅4間5尺とされる。現状、東西約360m、東、南を空堀で囲い、北は急峻な数10mの崖で、天然の要害となっている。北側の一部に土塁があるが、この崖に土塁の必要を認めないため、単なる屋敷地造成の掘り残しと考えられる。大手口は南側に当時の石垣を残しているが、全体的に大きく改変されており、その旧観を求めるのは難しい、絵図では大きな枡形曲輪が描かれている。搦め手口は木橋と枡形であるが、後世、土橋とされ、コンクリートで固められている。ただ、東空堀が北の崖にいたところで、絵図に描かれた柵の位置が城壁となっている。

以上、信頼できる正保城絵図と陸軍省城絵図のみを手掛かりに、現状遺構の分析を試みた。要害の地に立地し、大手、搦め手、二の丸、本城虎口の要所を巨大な枡形で固め、大規模な堀を巡らせる近世の代表的な山城遺構であるが、本城堀等特徴的な景観が失われ、本来その場所にはない移築建築や、存在しない土橋や橋が城跡としての機能を不明確にしているのは大いに惜しまれる。桜時期以外の城跡公園の活用が、城の見方が理解できるような、整備を願ってやまない。

高遠城跡現状追加調査

平成24年9月14・15日

1) 三の丸北部断崖中における犬走りの確認

犬走りは断崖のどこからどこまで、どの位置に、どのような幅で現存するのか、その目的は犬走りかどうか。

調査結果 三の丸駐車場がけ下に通路のような空間が見え、陸軍省城絵図に通路が書き込まれているため、現地確認を行った。搦め手口土橋から空堀に降りる通路幅2mのものは空堀内城外側を迂回し、そのまま城外に通じたが、三の丸城壁側からの通路は見当たらない。崖崩れにより、通路が閉塞しているものと思われる。

大手側の探索では、三の丸下10mに通路があるが、やはり数十mのところで消えている。現在、三の丸駐車場下に見える通路状の遺構を確認できない。なお、大手側さらに10m下に丸太で組まれた土止めの通路が存在するが、それも同様位置で消滅する。現在、三の丸断崖下に通路は確認できない。また、これは通路であって、城内からの防衛を目的とした犬走りではない。

- 2) 本丸虎口枡形遺構の確認、想定巾。正保絵図は内枡形、陸軍省絵図、修理絵図は外枡形、外枡形が可能か。

本丸虎口枡形と考えられる場所の実測を行い、虎口周辺に於いて、本丸城壁が相当前にせり出し、虎口前後約16m、左右16mほどの空間を見出すことができた。枡形の構造が明確でないが、左右の土塁の切れ目の間と本丸城壁の堀へのせり出しの位置に想定できる。従って、土塁線のセンターにあり、内枡形とも外枡形ともいえない。周辺の石垣遺構は橋台の石垣を含めすべて近代のものである。城門も移築門であり、原位置ではない。橋巾3m、長さ14m、橋台巾5m控3m、城内石垣通路幅4m、長さ右側11.5m、左11m、右側土塁上長さ8m、左土塁上5m、本丸東土塁は記念碑造成で大きく6mの円形に壊されている

- 3) 本丸内3基の櫓、2基の城門の現場確認。戦前の調査図は東南に櫓台を描く。二の丸東北に櫓台を描く。

櫓台はすべて後世の神社、櫓移設、堀埋め立ての削り取り等で破壊されている。

- 4) 二の丸堀南端と三ノ丸堀の境の堀の取り合いについて。

正保城絵図は二の丸と三の丸南端が塀で繋がれている。これが事実とするとこの仕切り土塁は両郭のレベルまであったことになる。この場合は塀によって、城外から城内の二の丸堀の存在を隠ぺいしたことになる。現状は三の丸側から二の丸方向に三分の一ほど、小さな突出しが構築され、城外からの侵入を阻止しようとしている。従って二の丸、三の丸境の土塁は単に三の丸堀からの侵入防止の用途と考えられる。突出し状の工築物は防衛上貴重な存在といえる。

- 5) 二の丸から法幢院曲輪への通路が修理絵図に描かれている。法幢院曲輪の外を三の丸大堀切が取り巻いている絵図があり、当初、法幢院曲輪と三の丸が繋がっていた時期を想定する必要があるかもしれない。

南曲輪から三の丸への土橋は城内唯一の土橋遺構であり、貴重なものと考えられる。この土橋東側から、法幢院曲輪へ堀底道が残存している。

- 6) 二の丸厩から城外馬場への堀底道が二の丸東南隅から城外に通じ、現存している。

今後の課題としては、享保10年城郭修理絵図の記載された、修理遺構の記録から、当時の現状確認が必要とされる、この絵図は形状とサイズに於いてはでたらめであるが、遺構の現状はもっとも詳細に記録されている。正保城絵図は高遠城の詳細内容は信頼できないが、絵図作成の基本である大きな構造の把握で、笹曲輪を含めた本丸意識、南の丸、勘介郭を含めた二の丸意識から見える、三の丸を含めた3重の輪郭式城郭の意図が理解でき、本丸、二の丸、大手、搦め手の巨大枡形における防衛意識が堅調に顕わされている。絵図が描こうとした目的の差異が読み取れる。陸軍諸城絵図は城の防衛能力より、軍営としての居住性を優先に調査し、軍営として不要な場合、反乱防止のために、建物や石垣の取り壊しが実行されたものと思われる。

以上、次回は安中城調査概報を予定

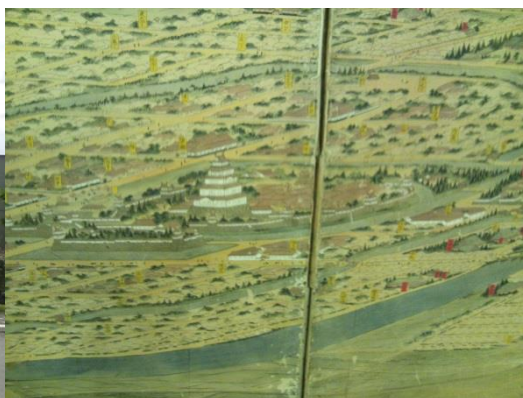
高遠城跡現状調査図 2012年（しろはく内、陸軍省絵図と対比揭示物）



博物館事業報告

1・地域活性化展示会開催

安中市学習の森歴史博物館開催『会津若松城下絵図屏風展』、昨年新発見の会津屏風を初公開しました。本図は著者、年代とも明確な唯一の屏風で会津城下町研究の基本となるものです。上田市真田歴史館開催『真田家の城郭と戦跡展』では、巨大な戸石城絵図を初公開したほか、真田の山城絵図を展示、いずれも9月2日閉幕、**1万数千名の多数のご来場**をいただき、無時終了しました。安中は八重の桜関連展示で6曲1双会津屏風以外に、会津若松城郭絵図、日新館教育資料、蝦夷警備品川台場資料、戊辰戦争絵図錦絵、明治期地質図地形図市街地図鳥瞰図公園設計図、天守復元模型を展示、真田では城絵図や錦絵、大坂合戦図等15点を展示しました。詳細は安中市でA4, 21頁の図録が実費300円で売られています。真田もA4, 4頁のパンフを作成していただきました。今後も機会をとらえて、地域活性化に挑戦します。(以下会場学習の森と会津屏風)



2・小諸市主催小諸宿骨董蚤の市 10月6日

参加65店舗、小諸市の小諸まつりに協賛。この種の催事では例がないですが、出品目録を長野県下博物館に配布、古文書古地図を来場された機関にお納めさせていただきました。配布したリストは以下の通りです。

長野県関係

姥捨山13景・善光寺絵図木版銅版各種・諏訪の土産木版・埴科蚕業地図・伊豆木小笠原長厚書状・小笠原長清資料一括。松本10景・南安曇郡略図・上高井郡地方地質図・松本東方古絵図・戦前飯田長野時刻表・千曲川通り上桜井村天明山論絵図・信濃国佐久郡郷村高・岡谷市勢要覧・川中島五戦記・昭和15年上田市商工案内・諏訪御郡中寺院記・上田藩主大坂城代着任行列100頁弘化2年松平忠優・小県郡長窪村年貢割付帳・元治元年上田御家中記・高島城御用米覚・諏訪大明神御社内図・大日本温泉一覧・川中島大戦組内尽錦絵・木曾街道錦絵軽井沢から16種・永禄5年小諸城主依田三郎左衛門書状・飯山町パノラマ地図・諏訪大観・飯田を中心とする下伊那名所大観・長野鉄道沿線・日本北アルプス案内・中央電気(株)事業絵図・田野口村文政7年神社仏閣書上帳・佐久原宮大明神文政10年松代藩届出書・長野市街より川中島方面眺望の図・上水内郡橋梁県道変更願明治・松本藩中島家出身書・諏訪史蹟要項金沢村編・老談一言記真田家臣・追分宿公裁記録・諏訪文出村宗門御改・武田三代軍記・諏訪史料・甲越勇士鑑・長野市中央地図・長野市全図銅版・上諏訪町図・木曾御嶽山全図・川中島古戦場之図・明治33年小県郡東北部国道県道道取図・長野市略図・片丘村図・銅版信濃国図・諏訪郡豊田村耕地整理図・南北佐久郡明細地図・槍ヶ岳及び乗鞍岳近傍・最新長野市地図・東筑摩郡寺社銅版11図・川中島の会戦・白馬岳及び立山近傍・松本市全図4種・上伊那郡寺社銅版35枚・長野県地図・南信1市7郡全図・上穂村安政6年山論絵図・長野県管内図・木曾御嶽山絵図・小県郡神川村図・日本アルプス登山注意書き・諏訪郡四賀村絵図10枚強・錦絵川中島大戦3枚続き・諏訪伊勢守書状江戸警備・埴科宗門送章4通千本柳村坂木村・小県郡下本入村古絵図・善光寺本堂略絵図・南佐久郡龍泉院銅版・諏訪教育1-6号・改正信濃国村名帳明治11年・天領坂本陣屋代官長谷川利次公・木曾川河川台帳意見書明治33年・筑摩郡小立野村年貢割付慶応・御嶽講社絵馬・筑摩郡御嶽山絵図木版・諏訪同人会資料一括・北佐久郡南御牧村村長依田家文書300通余・沓掛追分宿助郷文書135通尾張藩参勤交代対応等・高遠城郭絵図手拭・史跡名勝天然記念物4冊・安筑史料叢書4・高遠記集成・千曲之真砂2冊揃・信陽城主得替記・小諸市誌歴史編2城館跡等・南佐久郡古城址調査・長野県の中世城館跡。歴史の道6-10善光寺道伊那街道等・図解山城探訪上伊那・木曾・佐久南部・松塩筑・高井・佐久北部・補遺中南信・福田赳夫著風林火山木彫・真田三代記4冊・真田三代記写本36冊・信濃教育会雑誌56冊・上杉謙信北條丹後守宛書状軸巧芸・武田軍船之図・風林火山信玄軍配図雲峰寺所蔵軸・武田信玄書状小山田弥三郎宛軸装・武田上杉軍旗映画用30本・小諸なる古城のほとり藤村木彫・

群馬県関係

銘酒群鶴美人ポスター板鼻野田家吟醸・榛名山絵図2種・下仁田生活必需品小売商定款・井伊直政書状写・初三郎高崎市・前橋市・桐生市・碓氷郡資料一括松井田引札等・榛名伊香保資料一括・昭和16年榛名町地図5枚・勢多郡小夜戸村山林文書13通・桐生市全図3種・陳情書原市下仁田線新設・草津温泉古版画集・桐生及び附近図2種・桐生市略図・富岡町商工業名鑑案内地図・高崎市之略図5枚・最新群馬県全図・草津温泉双六・妙義山登山案内・大利根温泉郷鳥瞰図・上州四万温泉全図・横川通行手形3通・四万名所12枚石版・高崎歩兵第15連隊・金洞山西部真景木版・下仁田町字切図5枚・上州磯部鉦泉場之図・鬼石町全図・上州草津温泉真景図・碓氷郡地租改正申付書2通・前橋市街図・前橋市全図6種・前橋市街全図・高崎市街図3種・水上名勝案内・北甘楽郡羽沢村収獲地価取調帳明治地租改正報告書4冊大型原図48枚・下仁田町漁業質屋古物鑑札5個・

群馬県新旧町村名一覧・昭和 17 年—22 年安中町行政資料・勢多郡下長磯村検地水帳享保 13 年・
陸軍特別大演習群馬県
埼玉県関係

明治 4 年埼玉県太政官高札・忍米穀商版本・武蔵一宮本社拝殿再建之図・埼玉県置郡分画図・不動
岡総願寺 50 分 I 図・木曾街道錦絵 7 宿・比企郡虫塚村文化 14 年年貢・明治 43 年北埼玉郡砂川村
立川村絵図 13 枚・関東平原陸軍特別大演習観戦地図・総武鉄道明治 28 年設計図 5 枚・北足立郡
簾八新田絵図・武蔵国全図複製・浦和市街図・川越市全図・浦和市壺部町名地番改正図・北足立郡
南平柳町川口町河川敷占用地平面図・栗橋用水絵図 3 枚・江戸川水道金町浄水場・北埼玉郡長野村
馬場裏耕地整理組合確定図・埼玉県管内地図・秩父公園計画概要本多静六設計図・見沼代用水路土
地改良区概況について地図・帝国内地旅行地図東京近郊・比企郡亀井浦大字奥田地面地図張・北埼
玉郡不動岡村外 4 か村絵図・北埼玉郡絵図原道村（大利根村）大型 16 枚・渥美大童書福寿額・埼
玉郡立ノ堀村絵図明治 10 年ごろ 192 x 370 cm・渥美大童いろは書女人顔絵

3・日本銃砲史学会松本大会 10 月 19 日

いつも予定が入り欠席していたのですが、松本市内骨董めぐり、松本城鉄砲蔵見学を兼ねて参加
しました。地元の地図類を多数入手、近代松本地図集成、松本絵葉書集が出ていました。鉄砲蔵
は赤羽氏のコレクションですが、さすがでした。のどから手が出る物ばかりです。火縄銃主体で、
銃本体とパーツが多くありました。141 丁の銃砲のすべてが図録に掲載されていました。小生
の銃砲コレクションは銃砲絵図、古典籍主体ですが、本コレクションは火縄銃本体でした。松本
城では復元された太鼓門の公開がされ、復元に至る詳細な DVD が凡そ 1 時間にわたる放映され、
耳と目を括目して見ていました。復元の歩み、匠の技、礎石と柱の整合等、非常にリアルでした。
講演会は地元研究者 2 名と歴博名誉教授で銃砲史学会理事長の宇田川先生でした。講演会は翌日
の松本お城まつりに伴う、松本城鉄砲隊の古式砲術演武に会わされたようです。小生は高島秋汎
の**ゲペール銃絵図、鉄砲錦絵と木版銃砲双六それぞれ 4 種**持参、安中市寄贈の関連錦絵の複製もお
目につきました。前回日本銃砲史学会例会へ提供した幕府講武所絵図は板橋区立郷土資料館に預
けています。日本唯一の講武所絵図新発見になりそうです。小生も井上貫流砲術資料の紹介をさ
せていただいた日本銃砲史学会編纂、9 月 5 日販売開始の『日本銃砲の歴史と技術』はおかげさ
までわずか 1 か月 10 月 5 日増刷になりました。当日の講演会の様子は日本銃砲史学会のホーム
ページに掲載されています。若い研究者の入会を歓迎されているようです。

4・欧版古地図所蔵目録 2013 年 8 月 30 日現在

サントリー美術館『西洋人の描いた日本地図』展示会図録参照（以下図録）1993 年 5 月

- 1 1570 年オリテリウス東インド図 図録頁 91、10D 図
34 x 49 cm 日本地図を含む。調査中

- 2 **1589 年 オリテリウス太平洋図** 図録頁 92、10G 図

MARIS PACIFICI 太平洋銅版手彩色

アメリカ南北大陸から、オーストラリア、中国まで

日本は北海道、本州、四国、九州が描かれる。36 x 52 cm

額入り 56 x 71 cm（以下に**図版揭示、関ヶ原より前の銅版地図**）

- 3 **長崎、及び、琉球列島、台湾図** 江戸前期頃（以下に**図版揭示**）

NAGASAKI appele par les Chinois TCHANGKI

長崎銅版手彩色 町および要塞、出島四角に。

CARTE DES ISLES DE LIEOU-KIEOU

九州鹿児島から種子島、琉球、台湾までの琉球列島図 銅版手彩色

- 2図1枚サイズ26 x 34 cm 上部に長崎、下部に琉球列島
江戸時代 額入り36 x 43 cm
- 4 1650年 ヤンソン 中国図 図録127頁 50図の日本及び朝鮮は同一図 銅版手彩色 42 x 52 cm
CHINA VETERIBUS SINARVM REGIO NUNC INCOLIS TAME DICTA
左に大きく中国、右に朝鮮と日本が描かれる。北海道はない。
額入り58 x 76 cm
- 5 1746年 ベラン 日本及び中国沿岸図 図録147頁、71図
KORT OVER OERNE AR JAPAN
銅版彩色なし 図録は手彩色
24 x 30 cm 額入り42 x 53 cm
松前と書かれた小さな北海道、大きく書かれた本州、四国、九州から琉球列島、台湾、朝鮮、中国が描かれる。
- 6 1789年 アジア図銅版手彩色 図録未記入
48 x 69 cm 額入り58 x 76 cm
北海道、本州、東南アジア、インド、アフリカ東北部、中国、ロシア迄
- 7 1794年 セイヤー 日本図 図録150頁、75図
THE EMPIRE OF JAPAN
銅版手彩色 50 x 66 cm
北海道が逆三角形、本州、四国、九州詳細、朝鮮王国迄 日本海を朝鮮海
額入り66 x 82 cm
- 8 1802年 エロースミス日本図 図録168頁、106図
JAPAN 39 x 31 cm 石版色刷
- 9 1807年 エロースミス 日本図 図録168頁、107図
EMPIRE OR JAPAN
銅版手彩色 図録は彩色なし 25 x 40 cm
北海道の一部と日本の詳細図、朝鮮は外形のみ
額入り53 x 39 cm
- 10 瀬戸内海図 銅版手彩色 34 x 41 cm 図録未記入
下関海峡、安芸、備後海峡、淡路、大阪湾迄3枚に分割、
額入り47 x 55 cm 年代未記入 江戸時代
- 11 CHINESE EMPIRE AND JAPAN
中国及び日本図銅版手彩色 28 x 38 cm 幕末から明治頃
全体に中国、右端に日本、41とあるアトラスの一部と思われる。
額入り50 x 61 cm
- 12 IRERAND アイルランド 34 x 24 cm 銅版手彩色
額入り46 x 57 cm
- 13 HELVETIA スイス国図銅版手彩色 51 x 60 cm
額入り72 x 80 cm
- 14 SPAIN ANNE スペイン国図銅版手彩色 60 x 92 cm
額入り72 x 104 cm ロンドン製 年代未記入

- 15 EVROPA ヨーロッパ図銅版手彩色 60 x 46 cm
額入り49 x 64 cm 上部に都市図左右に王侯図
- 16 THE WORLD MAP OF 1669
1978年複製 巨大な世界地図を原寸複製したもの
A2立てサイズ20枚片面印刷、横6枚縦3枚繋げば1枚に可能
183 x 264 cm 日本は北海道なし
- 17 1670年のモンタヌス日本史長崎大坂道中図
- 18 パリ 1578年 銅版手彩色 51 x 64 cm
- 19 イタリア レバンテ 鳥瞰図 銅版 31 x 61 cm額50 x 80 cm



5・城郭、古地図、町並関連絵葉書整理完了

10月約1か月を要し、所蔵絵葉書の整理を実施した。これは古絵図、錦絵に続き、絵葉書も展示資料として公開、展示会や各地研究に供しようというものです。所蔵絵葉書は約7万枚ですが、1割は寺社仏閣風景です。これらはこれまで数万枚処分しましたが、まだ7000枚ほど出てきました。残りは全国の中近世から古代さらに最近世城郭、日本全国沖縄から北海道、樺太、朝鮮の倭城、中国の都城、海外の要塞、全国の町並や市街地古地図絵葉書です。これらをまず、地域別に分類し、次に県別、さらに城郭別に分類、7万枚の絵葉書を3回ずつ21万枚目を通したことになります。ルーペ片手の作業は大変でしたが、多くの城郭で手札サイズの生写真やコロタイプ印刷の手彩色絵葉書が出てきました。もっとも整理中に購入した絵葉書や地域不明でどこの城跡かわからない、城名のみ判明等が数100枚あり、整理するのに現役コレクターの限界を感じていま

す。コレクションアイテムである都市地図絵葉書等もおそらく、1000枚を超えると予想されます。これらの一部は2004年しらはく双書23『都市地図絵葉書厳選原寸80葉』24『城郭鳥瞰図・都市鳥瞰図絵葉書厳選原寸112葉』で紹介しました。今までは地図絵葉書はテーマで分類していましたが、活用の弁を考えて、明治の銀塩写真も手彩色絵葉書も、地図も地域別に収納しています。以前公刊した『戦前絵葉書に見る中世織豊城郭の景観・しらはく所蔵絵葉書130選』のように原寸絵葉書複製とまでは行きませんが、時期を見て、城郭ごとの未知の絵葉書紹介は必要かもしれません。整理して感動したのは（敬称略）大類伸、鳥羽正雄、桜井成広、中山光久、伊礼正雄等大家の葉書、荻原一青、福井健二、東内富一の木版絵葉書、池田光雄、池田誠、角田誠、三島正行、高田徹、関口和也、石川浩二、木下恵司、田中祥彦、谷口義澄、金子康夫各氏の縄張図絵葉書、資料では朽木史郎の篠山城、後藤仁公の古写真、松岡敏郎の建築図、志村清の大坂城等此の儘、眠らせていいのかと考えさせられました。私信ですので復刻は出来ませんが、展示会等で紹介は可能



かと思います。

6・城郭復元ジオラマ第一弾長篠城完成

11月1日待望の中世城郭のジオラマが完成しました。パートナ産業株式会社お城ジオラマ復元堂作成です。第一回の対象は三河長篠城、藤井尚夫監修で、復元にかける二宮社長の心意気が伝わってきます。特装版には富原文庫から長篠城絵図2図を提供しています。1500分1スケールで再現されたジオラマは立体縄張図を見ているようです。模型以外にAR（3D仮想空間）用航空写真や、長篠城CD、64頁のムック本があり、藤井尚夫の長篠城の立地と籠城戦闘コラムが収録されています。富原文庫の絵図『分検長篠城之図』は文化元年春測量、元治元年有名な三河国羽田八幡文庫の羽田野敬雄67歳の写し、サイズはA1です。複製はA2ですが、色校正はこちらで行いましたので忠実です。絵図には郭ごとの測量記録、櫓、城門が描かれ、川の中、水量、城郭面積、要地までの距離、天正3年の戦闘経過、長篠古城記が添えられています。『長篠古城図』はA2原寸複製です。各郭の寸法、解説がある他、城外の鳶の巣山に陣所、医王山に勝頼公陣所と記入されています。本来墨書きですが、地色の和紙の色まで忠実にカラーで再現していただきました。両図は両面刷りで1枚に仕立てられています。精密な建物復元まで再現されていますが、小生は普請の地形のみで推定の建物はいらぬような思いもありました。うれしいことに不精して組み立てなければ立体縄張図です。これで満足か。次回は高天神城とのことです。成功を祈ります。

特装版に添付の長篠城絵図2種



7・鷹の目の狩人、コンバーテック連載

43年間、お世話になった印刷業界ですが、終盤10年ほどはグラビア印刷業界さんとともに歩んでいました。退任するに当たり、業界トップの技術誌コンバーテックの川上編集長から依頼があり、コラムを連載することにしました。対象は加工技術、つまり、グラビア、スクリーン、フレキソ、ラベル等特殊印刷、塗工技術等の業界のオーナー、技術責任者、いわゆる経済人です。経営者として司馬遼太郎や池波正太郎のファンが多くおられます。1月からこれまで、**Iコレクターの心意気、II文庫設立と活用、IIIコレクターの世界、IV八重の桜と会津城下町屏風の発見、Vコレクターの時間軸、VI地域活性化に思うこと、VIIコレクションの始まり競りと入札まで、VIII結果の出た事実が歴史、IX治に居て乱を忘れるな、X城に見る夢、XI印刷に魅せられて、XII幕末の美錦絵**を連載しました。内容はコレクター物語、経営戦略というところです。

8・日本最大、唯一の城郭専門古書店、城郭文庫平成26年春開設予定

富原文庫のミュージアムショップとして、11月日本古書籍連合組合加盟、日本初の城郭専門古書店、古書肆城郭文庫を来年春開設します。富原文庫2階ホール（5，2 x 4，4m約13畳）が会場で常時1万冊以上の報告書が購入可能、城郭研究者待望の日本最大、唯一の城郭専門古書店です。基本的にはすべて、春までにネットに掲載予定で通信販売となります。来場は城郭研究者限定で可能ですが、10日以上前の完全予約制ですので、ご了解ください。連絡先、090-2722-4689 富原、50年来の課題である、日本城郭文献総目録（ただし、昭和まで）作成準備、収書の過程での重複本のすべてを販売します。又、非売品の城郭報告書に限り、買い取りします。支那城郭の概要や築城学教程、築城史料の原本、各地城郭修理絵図は歓迎です。



整理中のしほはく2階ホール、古書肆城郭文庫、すべて、県別城別です。

城郭、古地図の探究書、在庫確認については、本日から可能です。今現在紹介を受けている城郭絵図や中世古城絵図、台場図、城下町図等は250枚以上あります。ほとんどの城郭絵図が揃いますが、非常に高額で購入予算がありません。すべて買えば数億円か、博物館の箱モノより安いと思うのですが、資料の購入予算はないようです。以前、正保城絵図を紹介されたときは1000万円でした。もちろんパスです。対象から外していますが、城下町図が高いようです。

新収集情報報告

1・8月城郭研究家某氏旧蔵資料一括

昭和40年ごろ全国中近世城郭写真アルバム18冊収納写真約1800枚城郭研究家の視点で撮影された構図の写真は貴重、城郭図集手書き及び切り取りによる城郭縄張図約1000城、城郭調査ノート城郭記事スクラップ帳18冊、城郭論文切抜き多数約高さ25cm、写真記事切抜き段ボール1箱、城郭研究会機関紙100冊近く日本城郭協会東海古城研究会岡山古城研究会、城郭文献数十冊は切抜きがありすべて廃却処分、占めて段ボール6ケースでした。昭和40-60年代の研究者で中世が対象のようです。

2・9月陸軍砲兵学校旧蔵地形図620枚一括

5万分 I—470枚・2 万分—8 枚・2, 5 万分 I—5 枚・20 万分 I—102 枚・北方領土 20 万分 1—11 枚・風景付地形図 5 枚・東亜余地図 1 枚・満州 1 0 万 3 枚・2 0 万 3 枚・5 0 万 6 枚・一覽図 4 枚・軍隊 4 枚・1 万分 I—1 枚・新京・川崎・秩父・横浜港等

3・9 月軍記一括 77 冊・兵法書 17 冊 記載される城と合戦

信長記 1—1 5 卷大尾揃 寛文 1 2 年 1 6 7 2 年 合冊 2 冊 太田牛一輯録小瀬甫庵重撰
尾張三河美濃合戦・箕作城・観音寺城・芥川・滝山城・大河内城・手筒山城・金崎城・佐和山城・長嶋
合戦・新村城・小河城・延暦寺・炎上・淀城・大ツクノ城・高天神城・長嶋城・長篠合戦・安土城・
天王子付城・大坂城・安土殿主・上月城・伊丹城・安土山記事・三木城・花隈城・大坂城・高天
神城・鳥取城・高遠城・早世之評・滝川・武蔵野合戦

絵本甲越軍記初編 1—1 2 卷揃 文化 4 年 1 8 0 7 年 絵入本 1 2 冊
海野口城・葦崎対陣・小田井城落城・戸石合戦・碓氷峠合戦・上州責等

平家物語 1—1 2 卷揃 貞享 3 年 1 6 8 6 年 絵入本 1 2 冊

木曾將軍義仲記 7—8 卷 5 冊内 1 冊

義経記 5—8 卷 合本 1 冊 絵入本 古版本 平家西国下向

平泉実記 2 卷 1 冊 頼朝発向・阿津賀志合戦・大城戸合戦・根無藤落城・

前太平記 2・5・9・1 1—4 0 卷大尾 合冊 9 冊 将門純友契約・宇都宮合戦・黒崎城・箱
崎合戦・大江山城・葛飴城・千葉城・隅田合戦・川越合戦・岩槻中野合戦・岩淵合戦・鬼切部合
戦・加美河合戦・栗坂合戦・鳥海合戦・小松柵・石坂柵・衣川攻・鳥海柵・比与鳥落城・厨川攻・
青野原合戦・直衛館・金沢柵・金澤柵・甲賀山・

北国太平記 1—3・1 0・1 2—1 4 卷 全 1 5 卷内 7 冊 宝永 4 年 1 7 0 7 年 上杉家督争
いから北国平定まで 魚津合戦・宮崎落城・佐々成政・浜松サラサラ越・秀吉越中・杉原城・赤谷
城・今泉城・新発田合戦・池端城

太平記大全 1 0 卷 1 冊 絵入本 古版本 鎌倉合戦・稲村崎・

太平記 3・2 0・2 3—3 8 卷 合冊 1 5 冊 吉野城・千早城・船上合戦・摩耶合戦・金崎城・
黒丸城・住吉合戦・四条畷合戦・光明寺合戦・小清水合戦・松岡城・薩埵山合戦・武蔵野合戦・
鎌倉合戦・碓氷峠合戦・八幡合戦・神南合戦・菊地合戦・平石城・美作城・修善寺城

太平記 1 5—1 6 卷 1 冊 三井寺合戦・菊地合戦・正成討死・湊川合戦

太平記大全 3・1 0・2 0 卷 3 冊 絵入本 古版本 赤坂城・黒丸城・

太平記 3—6・9—2 4・2 7—3 2 卷 1 3 冊 赤坂城・千早城・筑紫合戦・金剛山・三井
寺合戦・菊地合戦・福山合戦・湊川合戦・金崎城・瓜生・黒丸城・松岡城・鎌倉合戦・笛吹峠軍
事・八幡合戦

4・1 0 月太田道灌持資流秘伝書 1 7 冊 持資流斥候之法全 3 冊・持資流陣取極意秘伝全 3 冊・持
資流合戦法画集 2 冊内 1 冊 持資流陣取法画集全 2 冊・持資流合戦極意秘伝全 2 冊・持資流物見
法画集 2 冊内 1 冊 小勇働心待秘伝 2 冊内 1 冊 小勇働並足軽用秘伝 2 冊内 1 冊 持資流人
数押目録全 2 冊 持資流城責之法全 1 冊 全容不明なるも全 5 6 冊とあり、そのうち 1 7 冊横本

5・1 0 月兵法書一括 17 冊

重役 上下 2 冊 (軍鑑長柄鎧卷・軍鑑物見卷・軍鑑使番卷・軍鑑籠城卷上下・軍鑑城攻卷上下・
軍鑑旗役卷・軍鑑夜戦卷・軍鑑奸戦卷以上 8 編収録) 重役之書聞書全 重役之書弓大将之口訳
全 末 聞書全 (末書聞 尽) 礼儀條目天保 3 年文政 1 3 年武具解説 兵法神機要鑑録附言巨
江義宗著 **兵法雄鑑抄** 自序 5 奉行卷文政元年 武用弁略破本全 軍鑑足軽卷上下 **末書集箇條**
1—5・6—1 2 卷 2 冊 **結要品聞書完** **甲陽軍鑑前集全** 武射私用之卷正保 2 年 拔粹裏 聞
書完 東條流武備精要一統目録完伊藤友直 拔粹軍法口伝私記完

6・10月昭和30年—40年元地質調査所地質部某氏旧蔵地質図等一括168枚

20万分1地質図72枚・50万分1地質図20枚・50万分1地質構造図1枚・50万分1活構造図12枚・5万分1地形図14枚・2,50万分1地形図33枚・一般図3枚・測量経路記入地形図14枚

あとがき

24時間フリータイムという未知の経験から1年余、書庫の整理も十分といえず、周辺城郭の調査もままならず、何から手を付けるべきか、考えもせず、がむしやりに片っ端から片付けてきました。これまでは出張のついでに、土日は全国の城と博物館、古書店を歴訪していました。上京するのも新幹線の定期券で無料でしたが、今は東京古書会館にも、東京古地図倶楽部や日本銃砲史学会にも行けない状況です。ただ、50年近い古書業界のネットワークと、この20年ほどの骨董業界との交流の中で、古地図と城郭については、全国から情報をいただくことが出来ました。11月には群馬県古書組合に入会しました。東京古典会、明治古典会の入札に直接参加し、出品も可能です。これまでも、古書、骨董の競りに参加、未知との遭遇に期待していますが、これからは、日本の古書店ルートも活用し、コレクションに拍車をかけます。

現地調査が書庫の整理に追われ出来ないでいますが、安中城の実態解明に着手したいと考えて居ます。全国の城郭絵図調査は終了しましたが、江戸期に書かれた安中城攻め絵図というのを発見しました。大海で釣竿を垂れるような毎日です。安土城屏風が手にかかることを願っています。

昨年、長野県城絵図展で公開した中世城郭の江戸期の縄張図解説

伊奈古城絵図は甲州流の膨大な軍学書に埋もれていました。「正治図之」と書かれた寛政7年から11年の現地調査の記録絵図です。調査の結果、正治は加藤正治、伊那旗本千石八代小笠原正著家臣と判明し、甲州流先伝系譜に於いては、岡田勝英の弟子で、寛政年中関東甲信越東海の地を行脚して、戦跡地利を探るとあります。加藤正治は地元である伊那地方の古城の測量を行ったのです。ここに、なぜ、伊那の古城調査がされ、これだけの絵図が残されたかというなぞは解明しました。一般に軍学者による縄張図は写しが多く、現地調査をされた絵図はまれで、信頼性にかけます。ここに見ていただく、調査絵図は小笠原家軍学者加藤正治の原図であり、詳細な現地調査の記録であります。今を去る217年前の城跡の姿と現在の姿を比較してみてください。古城絵図で現地、著者、年代が明確なものはほとんど残されていません。これらの絵図の希少性は明らかです。



来場いただいた宮坂先生

お願い 本活動記録創刊号はご自由に転送してください。今後についても転送は了解ですが、こちらからの直接の配信を希望される方は、メールアドレスを更新しますので、返信をいただければと考えて居ます。新たに申込みいただいた方にも次号以降の配信を行います。返信のない方への送信は次回から割愛させていただきます。よろしくお願いします。都合でメールを受信できない方への配信は出来ませんので、その場合は代わりに受信できるご家族の方等のアドレスをご連絡ください。
